

令和6年度からの特別支援教室（小集団指導）通室先意向調査の質問・意見まとめ

※同趣旨の質問・意見は集約しています。

	質問・意見	お答え	分類	学年
1	本人は拠点校に通いたいと希望を口にしています。親としては在籍校がいいと考えています。	令和6年度からは原則として在籍校で指導を受けることとなります。多くの方が在籍校での指導を希望されていると認識しております。拠点校での指導継続を希望される場合も、現在の状況とは異なることをご家庭でお話しいただければと思います。	指導場所の選択	小学校3年生
2	子どもが拠点校を希望している為、まだ決めかねています。	令和6年度からは原則として在籍校で指導を受けることとなります。多くの方が在籍校での指導を希望されていると認識しております。拠点校での指導継続を希望される場合も、現在の状況とは異なることをご家庭でお話しいただければと思います。	指導場所の選択	小学校4年生
3	違う学校で指導を受けることによって、在籍校とは違う環境にいられて本人がリフレッシュできているため、このまま拠点校に行きたいというのが、子ども本人の意向です。環境の変化も苦手。 ただ、在籍校で指導を受けるとどんな感じになるか体験していないので、イメージが掴めていないこともあるし、同じ学校の同学年の子が来年拠点校に来るのか？など、周りの子との兼ね合いも勉強していく環境に影響があるのでは？と思っているので、どちらが良いというのは判断しづらいところもあると思います。	意向調査の全体の傾向として、在籍校での指導を希望をされる方が多くなっています。これまで拠点校に集まっていた児童が在籍校で指導を受けるようになるため、拠点校で指導を受ける人数はこれまでとは大きく異なります。拠点校での指導継続を希望される場合も、現在の状況とは異なることをご家庭でお話しいただければと思います。	指導場所の選択	小学校5年生

令和6年度からの特別支援教室（小集団指導）通室先意向調査の質問・意見まとめ

※同趣旨の質問・意見は集約しています。

	質問・意見	お答え	分類	学年
4	<p>在籍校になると移動もなく親としては助かっております。通級が大変な方は在籍校で受けられるのはとても良い事だと思います。</p> <p>今回の件を子に伝えたら、他校の友達が居なくなるのは寂しいと言っていました。在籍校ではほとんどの休み時間ひとり読書する毎日が、拠点校では友達に声をかけて遊ぶそうです。少人数でかつ在籍校でない友達と過ごすのが楽しかった様なので残念がっていました。</p>	<p>意向調査の全体の傾向として、在籍校での指導を希望をされる方が多くなっています。これまで拠点校に集まっていた児童が在籍校で指導を受けようになるため、拠点校で指導を受ける人数はこれまでとは大きく異なります。拠点校での指導継続を希望される場合も、現在の状況とは異なることをご家庭でお話しいただければと思います。</p>	指導場所の選択	小学校5年生
5	<p>最近友達とのトラブルが増え、週一通級して気持ちの切り替えができていますが、それと同時に通級の方でも朝遅れると入りづらいからと中々入らない点もあり、在籍だとそれがなくなるから良い反面、唯一通級での環境を変えての指導の中で、クラスの子達がいないうちで先生に話せるというメリット…と色々悩みまだ決めかねています。</p>	<p>在籍校の中の「特別支援教室」で指導を受ける時間は在籍学級から離れることとなります。在籍学級とは異なる環境、クラスの他の児童はいない状況で巡回指導教員と話せる場となります。</p> <p>それ以外にも拠点校へ通う物理的な負担や時間を考慮すると、在籍学級で過ごす有意義な時間が増えるというメリットがあります。</p>	指導場所の選択	小学校5年生
6	<p>通室を検討して相談している時（一学期）に、市の担当者から、次年度は在籍校でも受けられるようになる旨の説明が一切なかったのは残念です。環境の変化に適應するまでに時間がかかるので、あらかじめわかっていた方が物事がスムーズに進むためです。</p> <p>また、何かの回答をいただく期限について「近いうちに」とよく言われ、いつまで待てばいいのだろう…と不安になりました。「何日までに」と具体的に日付を明示していただくようお願いします。</p>	<p>今回の改編に当たって、調整事項も多く円滑に移行できるよう検討しながら進めております。保護者の皆様からの疑問や質問等については可能な限り速やかにお答えしていきたいと考えております。</p>	指導場所の選択	中学校1年生

令和6年度からの特別支援教室（小集団指導）通室先意向調査の質問・意見まとめ

※同趣旨の質問・意見は集約しています。

	質問・意見	お答え	分類	学年
7	通級を検討し相談している段階（一学期）で、市から、6年度から在籍校で小集団指導が受けられる予定であることの説明が欲しかった。	今回の改編に当たって、調整事項も多く円滑に移行できるよう検討しながら進めております。現在ご案内している情報が最速であることをご理解いただければと思います。	指導場所の選択	中学校1年生
8	確かに送迎は面倒ではあるものの、今の環境が良いと思っています。どうも普通の学校で同じくらいの支援を享受できるかわからず不安です。それなのに、拠点校に通うためには、特別な理由を求められたり、同じようなことができる保証はないと言われてしまうのは、移行期間も設けず実証もされていないのに、選択しなければならないのは辛いです。	令和6年度からは在籍校においても拠点校においても指導内容が変わらないよう実施していきます。拠点校で指導を継続する場合、今年度と令和6年度では諸所の条件が変わりますので全く同じということにはなりません。また、拠点校での指導継続を希望することについて特別な理由は必要ありません。	指導場所の選択	小学校5年生
9	本人が拠点校での指導に慣れている、あと1年で卒業である、本人が在籍校で指導を受けることが恥ずかしいと話しているため。	これまで指導を受けていた環境の変化に対するご要望については可能な限り配慮します。しかしながら、拠点校での指導を希望される場合も、一緒に指導を受けるメンバーは大きく変わることにご留意ください。	指導場所の選択	小学校5年生
10	子ども本人が今の拠点校に通う事を希望しているため。また、在籍校で指導を受けることになると現在のような少人数指導の利点が損なわれてしまうと考えるため。また、来年度は6年生ということもあり他校の児童達と入り混じった指導は中学校に進学するにあたっての貴重な機会となるため。	令和6年度からは原則として在籍校で指導を受けることとなります。多くの方が在籍校での指導を希望されていると認識しております。在籍校と拠点校で小集団を編成する条件は大きく変わりません。拠点校での指導継続を希望される場合も、現在の状況とは異なることをご家庭でお話しいただければと思います。	指導場所の選択	小学校5年生

令和6年度からの特別支援教室（小集団指導）通室先意向調査の質問・意見まとめ

※同趣旨の質問・意見は集約しています。

	質問・意見	お答え	分類	学年
11	今の環境がとても気に入っており、環境を変えたくない。在籍校には、特性が似ているお子さんがいるとは思えない。在籍校で、今受けている授業が受けられるとは思えない。	令和6年度からは原則として在籍校で指導を受けることとなります。多くの方が在籍校での指導を希望されていると認識しております。拠点校での指導継続を希望される場合も、現在の状況とは異なることをご家庭でお話しいただければと思います。	指導場所の選択	小学校1年生
12	在籍校で課題毎の適切な小グループが組めるのか、学校が分散することにより拠点校でのグループ編成や指導がどう変わるのか等、様子を見て判断したいと思っています。	各学校（在籍校）では凡そ3～5人程度のグループを組み小集団指導を進めていきます。同学年又は年齢の近い範囲（凡そ2学年の範囲内）で、現在と同じように課題別に小集団を組む想定です。 令和6年度からは全ての学校でその学校に通うお子さんの中から小集団を編成していきますので、在籍校でも拠点校でも条件は変わりません。意向調査の全体の傾向としては、在籍校での指導を希望をされる方が8割以上と多くなっています。	小集団の編成	小学校2年生
13	拠点校では指導日やグループ編成を考慮してもらっていましたが、在籍校ではメンバーが固定となるのでこれまでのような対応は難しいと考えています。	意向調査の全体の傾向として、在籍校での指導を希望をされる方が多くなっています。拠点校においてもこれまでのような大人数からのグループ分けはできなくなります。グループ編成についての条件は在籍校と拠点校で大きな差はないものと考えております。	小集団の編成	小学校3年生
14	今回の通級制度変更は親子共に無駄な通学の負担がなくとても有難い対応であり感謝しかありません。 一方、恐らく児童数的にも専任の先生数的にも各学校1～2クラスしか編成できないと思うと、ほぼ毎年同じメンバーになってしまうかと思われます。今までと違ってクラス分けは縦割り(高学年と低学年一緒)にするとか、同学年なら普段のクラスを一緒にしないよう散けるかしないとすぐに慣れが生じるなどの影響が出る気がします。	各学校（在籍校）では凡そ3～5人程度のグループを組み小集団指導を進めていきます。同学年又は年齢の近い範囲（凡そ2学年の範囲内）で、現在と同じように課題別に小集団を組む想定です。 現在よりはより小さい集団となる想定で、可能な限りお子さん同士の関係性にも配慮していきます。	小集団の編成	小学校2年生

令和6年度からの特別支援教室（小集団指導）通室先意向調査の質問・意見まとめ

※同趣旨の質問・意見は集約しています。

	質問・意見	お答え	分類	学年
15	<p>在籍校で小集団指導を受けたいですが、児童数が今より減ると思うので、児童が2、3人だとコミュニケーションの学習が難しいのではと心配しており、決めかねています。</p>	<p>各学校（在籍校）では凡そ3～5人程度のグループを組み小集団指導を進めていきます。同学年又は年齢の近い範囲（凡そ2学年の範囲内）で、現在と同じように課題別に小集団を組む想定です。 意向調査の全体の傾向として、在籍校での指導を希望をされる方が多くなっています。グループ編成についての条件は在籍校と拠点校で大きな差はないものと考えております。 拠点校へ通う物理的な負担や時間を考慮すると、在籍学級で過ごす有意義な時間が増えるというメリットがあります。あくまで指導を受ける場所として拠点校でなければならない場合のみ拠点校を選択していただきますようお願いいたします。</p>	小集団の編成	小学校1年生
16	<p>昨年度L教室(個別)、今年度S教室(小集団)にてお世話になっているのですが、一人ひとりの課題が違うので、小集団では対応が難しい様な気がするのですがいかがでしょうか？ 似てる特性(似てる課題)の児童を集めるのは現実的に難しいでしょうし、 個別対応ですとありがたいと感じたりしています。 先生方の人数にも限りがあるので、なかなか難しいとは思いますが。 西東京市は個別よりも小集団に力を入れていると聞いていますが、その根拠をもっと詳しく知りたいです。</p>	<p>各学校（在籍校）では凡そ3～5人程度のグループを組み小集団指導を進めていきます。同学年又は年齢の近い範囲（凡そ2学年の範囲内）で、現在と同じように課題別に小集団を組む想定です。 個別か小集団の指導形態については、そのお子さんの課題に適した形態で指導していきます。現在の西東京市立小学校では小集団指導のお子さんが多くなっていますが、お子さん一人ひとりの課題に合った指導を行っている結果と認識しております。</p>	小集団の編成	小学校3年生

令和6年度からの特別支援教室（小集団指導）通室先意向調査の質問・意見まとめ

※同趣旨の質問・意見は集約しています。

	質問・意見	お答え	分類	学年
17	<p>一年生から通っていて、特別支援教室の先生の指導や雰囲気がとても良く、安心して指導を受けることができるため。在籍校だど、苦手な子どもと一緒に指導を受ける可能性があり、不登校につながるものが心配なため。</p>	<p>各学校（在籍校）では凡そ3～5人程度のグループを組み小集団指導を進めていきます。グループ編成については、これまで通り、拠点校教員が、お子さんの状況や関係性そして指導の目標設定等と照らし合わせながら効果的なグループ編成を組みます。 お子さん同士の相性が悪いといった状況がある場合は、事情を勘案しながら、より良いグループ編成を検討し、効果的な指導が何かを重々考え適した指導を進めていきます。</p>	小集団の編成	小学校3年生
18	<p>現在集団として学習している1グループの人数が大幅に減ってしまうのでは？と言う心配もあります。「集団の中で学ぶ」がS教室の素晴らしいところであり、我が子に向いている環境だと思っているので、その基本部分を崩さないような人数編成を検討いただければと願っております。</p>	<p>個に応じた支援が基本となりますので、一定程度の人数の中で指導を行っていきます。その中で社会性やコミュニケーションの課題について「他者と関わる」指導を行っていきます。 各学校（在籍校）では凡そ3～5人程度のグループを組み小集団指導を進めていきます。同学年又は年齢の近い範囲（凡そ2学年の範囲内）で、現在と同じように課題別に小集団を組む想定です。</p>	小集団の編成	小学校1年生
19	<p>通えるのはありがたいと思うが、学力が心配です。 支援を卒業すべきか、必要性があるのか、いつも考えてしまいます。</p>	<p>特別支援教室の指導は、在籍学級での授業やコミュニケーションについて有意義・円滑に行えるようになるために受けるものです。在籍学級での授業について、受けられない授業科目に偏りが生じないように時間割を工夫する等対応しております。 特別支援教室の指導の必要性について、そのお子さんごとに課題は異なりますので、拠点校の先生とよく話し合ってくださいと思います。</p>	指導の必要性	小学校5年生
20	<p>送迎に関してはありがたいが、指導方法が未確定のため不安。現行の指導方法や発表会当の経験から在籍校で同様に価値のある内容ができるか不明のため、指導を受ける学校を決めかねています。</p>	<p>在籍校と拠点校で指導方法や指導内容は変わらないよう実施していきます。拠点校においても今年度と指導方法は変わりますので、あくまで指導を受ける場所として拠点校でなければならない場合のみ拠点校を選択していただくようお願いします。</p>	指導内容	小学校5年生

令和6年度からの特別支援教室（小集団指導）通室先意向調査の質問・意見まとめ

※同趣旨の質問・意見は集約しています。

	質問・意見	お答え	分類	学年
21	現在行われている畑等の指導が、在籍校で削除及び変更される可能性を考えて、同じ拠点校を希望	中学校においても指導時間が今年度と変わる関係で、指導内容を精選していきます。令和6年度からは在籍校と拠点校で指導内容が変わらないよう実施していきます。あくまで指導を受ける場所として拠点校でなければならない場合のみ拠点校を選択していただきますようお願いいたします。	指導内容	中学校2年生
22	来年度より、在籍校で受けられることで担任の先生との連携も取りやすくなるのはとてもありがたく思います。ですがその分、担任の先生方の負担が増えてしまいご迷惑にならないか不安です。 また、今年度までは週1の給食までの時間と半日は支援級で過ごさせてもらいましたが、時間も減り支援内容が同じことが出来るのか不安です。	巡回指導教員が在籍校に巡回する際に直接対面で情報共有の場を設けたり、また記録簿や電話等も活用しながら、在籍学級と特別支援教室それぞれでの様子を把握し、お子さんにとって効果的な指導を各々の立場で考え、指導に取り入れていくことに繋がります。その結果としてお子さんのより良い成長につながることを願っております。 指導内容は大きく変わりませんが、指導時間が変わりますので優先順位を付けて必要な指導を行っていきます。	指導内容	小学校4年生
23	今まで身体を使う体育のような授業も含まれていましたが、来年度からの指導ではどうなるのでしょうか？ また今まで使用していた教材は他校の指導日と重なり、使えないということはないのでしょうか？その工夫はどのようにされるのでしょうか？ 学習発表会のように授業参観の機会はなくなるのでしょうか？	運動については体育館やその他の教室で工夫して行っていきます。教材については、各校で指導に必要な教材を揃えて行きます。各校で指導内容が変わらないよう配慮します。お子さん一人ひとりに応じた指導を行っていきます。 保護者の方が参観する行事については、令和6年度のスケジュールが決まり次第お知らせさせていただきます。	指導内容	小学校1年生

令和6年度からの特別支援教室（小集団指導）通室先意向調査の質問・意見まとめ

※同趣旨の質問・意見は集約しています。

	質問・意見	お答え	分類	学年
24	<p>児童・生徒、保護者の「移動」という負担を考えれば良いことだと思いますが、以下の2点に不安を覚えます。</p> <p>①小集団指導の規模、質は保たれるのか。</p> <p>②自校通級、拠点校通級を併用することによる教員の負担増。</p> <p>児童・生徒、保護者、教員、皆にとって良い形に落ち着いてくれればと思います。</p>	<p>各学校（在籍校）では凡そ3～5人程度のグループを組み小集団指導を進めていきます。同学年又は年齢の近い範囲（凡そ2学年の範囲内）で、現在と同じように課題別に小集団を組む想定です。</p> <p>小集団の規模や指導内容は在籍校と拠点校で変わりありません。現在は個別指導を在籍校で、小集団指導を拠点校で行う併用型になっており調整に係る負担はあります。令和6年度から小集団指導についても在籍校で行うことで各在籍校内でスケジュール調整等が可能となり、効率的に指導ができるようになると考えております。</p>	指導の質	中学校1年生
25	<p>少人数でその子にあった教育指導書に基づいて成長を促して下さるので、子どもがいつも楽しく通えています。</p> <p>人間関係の面で、自分を優先してしまうときがあり、その面でのサポートは通常級では受けにくく、支援教室でよく指導くださいます。</p> <p>他人とのかかわり方は、家庭ではなかなか教育環境が整えられない部分ですので、来年度は時間が短くなると聞き、必要な成長の時間が足りなくなるのではないかと心配です。</p> <p>特別支援教室を必要とする子どもは増加する一方ですので、ぜひ専門の先生を増員していただきたく存じます。</p>	<p>令和6年度から小集団指導は週2時間を基本として考えています。これまでと指導時間が変わりますので、お子さん一人ひとりに優先順位を付けて必要な指導を行っていきます。</p> <p>拠点校への移動時間がなくなることで在籍学級で過ごす時間が増え、お子さんの自立に向けてトータル的に課題解決を図っていくことで一層、質的な充実に繋がっていきます。</p> <p>また、巡回指導教員が在籍校に巡回する際に直接対面で情報共有の場を設けたり、また記録簿や電話等も活用しながら、在籍学級と特別支援教室それぞれでの様子を把握し、お子さんにとって効果的な指導を各々の立場で考え、指導に取り入れていくことに繋がります。</p> <p>巡回指導教員の専門性の向上については、市主催の指導効果の検証会議や研修会において継続的に取り組んでいきます。</p>	指導の質	小学校1年生

令和6年度からの特別支援教室（小集団指導）通室先意向調査の質問・意見まとめ

※同趣旨の質問・意見は集約しています。

	質問・意見	お答え	分類	学年
26	<p>在籍校で指導を受けられることは送迎の負担が減る事のメリットは感じられますが、在籍校での指導となれば児童の数が増える可能性もあり、今まで拠点校で受けていた指導内容が劣らないようにしていただきたい。むしろ、内容の濃い指導へと改善をしていただきたい(指導を受けていますが大きな成長は感じられない為)</p>	<p>各学校（在籍校）では凡そ3～5人程度のグループを組み小集団指導を進めていきます。同学年又は年齢の近い範囲（凡そ2学年の範囲内）で、現在と同じように課題別に小集団を組む想定です。</p> <p>その学校で対象者が増えた場合はグループも増えていきます。基本的に小集団で個に応じた指導を行っていきますので、一定程度の室は担保されると考えております。</p> <p>また、学期ごとに市で開催している指導効果の検証会議において、心理の専門家から指導・助言を受けております。お子さんの成長にあたっては定期的な面談でお伝えしております。</p>	指導の質	小学校5年生
27	<p>来年度から通いやすくなる点、保護者の負担も減り有り難く思いますが、</p> <p>拠点校に集まって行っていた支援内容より時間も減る点、質も落ちてしまわないか不安です。</p> <p>小学6年までは通わせたいと思っていたこともあり、このようなことになり残念な気持ちもあります。</p>	<p>令和6年度からの特別支援教室は児童・生徒の実態に合わせて週1～3時間程度の指導を行うことを想定しています。これは、可能な限り多くの時間を在籍学級で有意義に過ごせるようになることや、在籍学級での授業時間を確保することを今まで以上に重視し、お子さんの自立に向けてトータル的に課題解決を図っていくことで一層、質的な充実につなげていくものです。今後も変わらずに、これまで大切にしていた自立活動の指導といった目的・目標に向けて丁寧に指導をしていきます。</p>	指導の質	小学校4年生
28	<p>特別支援教室の先生方は、本当に子どものことをよく理解し対応してくださっていて、信頼関係も生まれているようで、子どもの安心場所としても機能していて大変ありがたいです。</p> <p>ですが、在籍校でその指導が活かされきってないように思います。(連携が取りきれてない)</p>	<p>巡回指導教員が各校に巡回していくことで、これまで以上に巡回指導教員と在籍学級担任との情報共有の機会は増え連携は密になっていくものと考えております。巡回指導教員が在籍校に巡回する際に直接対面で情報共有の場を設けたり、また記録簿や電話等も活用しながら、在籍学級と特別支援教室それぞれでの様子を把握し、お子さんにとって効果的な指導を各々の立場で考え、指導に取り入れていくことに繋がります。</p>	在籍学級との連携	中学校1年生

令和6年度からの特別支援教室（小集団指導）通室先意向調査の質問・意見まとめ

※同趣旨の質問・意見は集約しています。

	質問・意見	お答え	分類	学年
29	<p>担任の先生と特別支援教室の先生で連携が取れているのかわかりませんが困り事の共有や担任の先生から支援教室の先生へ相談が気軽にできるといいと思います。担任の先生は若く経験が少ない為、対応の仕方がわかっていないように思います。ぜひ特別支援教室の先生方で担任の先生もフォローしていただけると嬉しいです。</p> <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に困り事はないかのヒアリングとアドバイス ・通常の学級にいる時の見回り 等 <p>もう既に実施されていたら申し訳ありません。もし実施されているのであれば少しでも親に報告があると安心します。宜しくお願い致します。</p>	<p>巡回指導教員と在籍学級担任との情報共有について、巡回指導教員が在籍校に巡回する際に直接対面で情報共有の場を設けたり、また記録簿や電話等も活用しながら、在籍学級と特別支援教室それぞれでの様子を把握し、お子さんにとって効果的な指導を各々の立場で考え、指導に取り入れていくことに繋がります。</p> <p>巡回指導教員が在籍校に出向く機会が増えることで、これまで以上に巡回指導教員と在籍学級担任との連携は密になっていくものと考えております。</p>	在籍学級との連携	小学校1年生
30	<p>通級と在籍級の連携があまり伝わらない。通級で把握した特性が、在籍級の配慮につながっていない様に感じる。子どもが出来ることを増やすのも勿論大事だが、どのように環境的にサポートすればより出来るのかを掴み、そこを在籍級にアドバイスして欲しい。通級の指導担当・在籍級担任・保護者での面談などもあれば良いと思う。また、各校に知識のある専任の支援コーディネーターを配置するべきだと思う。</p>	<p>巡回指導教員と在籍学級担任との情報共有について、巡回指導教員が在籍校に巡回する際に直接対面で情報共有の場を設けたり、また記録簿や電話等も活用しながら、在籍学級と特別支援教室それぞれでの様子を把握し、お子さんにとって効果的な指導を各々の立場で考え、指導に取り入れていくことに繋がります。</p> <p>巡回指導教員が在籍校に出向く機会が増えることで、これまで以上に巡回指導教員と在籍学級担任との連携は密になっていくものと考えております。</p> <p>各学校では教育支援コーディネーター教員を置いており、市主催の連絡会・研修会においてスキルアップを図っております。</p>	在籍学級担任と巡回指導教員の情報共有	小学校1年生

令和6年度からの特別支援教室（小集団指導）通室先意向調査の質問・意見まとめ

※同趣旨の質問・意見は集約しています。

	質問・意見	お答え	分類	学年
31	<p>来年度は現行の連絡帳の活用、在籍校の担任への負担を考えると今までの様な、情報共有は難しいのかなと思っています。せめてコドモン等のアプリツールを使用し、連絡帳の受け渡し以外で子ども達の課題を作るべきと思います。（保育園ではとても助かりました。学童保育でも始まるとの事で期待しています）</p> <p>説明会もたった一度で、在籍している親が参加出来ない方も多く明確な答えも頂けていないと感じています。途中参加しましたが、書類の内容だけでは来年度に関しての不安は払拭されておられません。再来年に向けての話だったら、まだ解りましたが、あまりにも急で戸惑っております。</p>	<p>これまで通り、担当の先生（拠点校の巡回指導教員）とは定期的な面談や連絡帳でのやり取り等、ご家庭との密な連絡体制を維持していきます。気になることがあり連絡を取りたい場合もお電話頂ければお話できるよう致します。</p> <p>連絡帳の記載内容については改善を図っていきたいと考えています。</p> <p>説明会内容につきましては市公式HPに質疑応答内容等を掲載しています。今回の意向調査で寄せられたご意見・ご感想も情報共有させていただきます。</p>	情報共有	小学校5年生
32	<p>今までのように在籍校でも支援を受けれるのか疑問が多々あります。でも、送り迎えが無くなるのは助かります。ただ、先生との連絡や相談が減るのは目に見えており、母子への影響も考えられます。支援現場の説明、公開を希望します。また、今までの連絡帳では記入欄が少ない為改善を求めます。</p>	<p>指導内容については在籍校においても拠点校においても同じ内容となるよう行っていきます。</p> <p>これまで通り、担当の先生（拠点校の巡回指導教員）とは定期的な面談や連絡帳でのやり取り等、ご家庭との密な連絡体制を維持していきます。気になることがあり連絡を取りたい場合もお電話頂ければお話できるよう致します。</p> <p>連絡帳の記載内容については改善を図っていきたいと考えています。</p>	情報共有	小学校2年生

令和6年度からの特別支援教室（小集団指導）通室先意向調査の質問・意見まとめ

※同趣旨の質問・意見は集約しています。

	質問・意見	お答え	分類	学年
33	指導の様子等の情報共有の方法について、心配しています。	<p>教員同士の情報共有については「巡回指導教員同士の情報共有」と「巡回指導教員と在籍学級担任との情報共有」の2つあります。</p> <p>巡回指導教員同士の情報共有について、毎週教室会議を開き、お子さんの状況や指導による変化、指導内容等を巡回指導教員全員で共有し、より充実した指導に向けて検討していきます。</p> <p>巡回指導教員と在籍学級担任との情報共有についても、巡回指導教員が在籍校に巡回する際に直接対面で情報共有の場を設けたり、また記録簿や電話等も活用しながら、在籍学級と特別支援教室それぞれでの様子を把握し、お子さんにとって効果的な指導を各々の立場で考え、指導に取り入れていくことに繋がります。</p> <p>巡回指導教員が在籍校に出向く機会が増えることで、これまで以上に巡回指導教員と在籍学級担任との連携は密になっていくものと考えております。</p>	情報共有	小学校4年生
34	<p>現在は送迎の際、直接担当の先生から一日の様子などを話していただいたり、こちらも相談させてもらったり共有したり…と言う時間が設けられており親としてはその数分がとてもありがたく感じておりました。</p> <p>なかなか同じ親同士でも交流ができず、相談先が無い状況で先生に話を聞いてもらえる、アドバイスいただけるのは貴重な時間です。</p> <p>自校での指導となると、そのタイミングがなくなることがとても残念に感じております。</p> <p>出来れば、先生と直接お話ができる機会がこまめに有るような環境を作っていただければと思います、どうぞよろしくお願いいたします。</p>	<p>送迎がなくなるため、毎週対面でのやり取りではありませんが、今までのように、学習内容やお子さんの様子を連絡帳にて丁寧にお伝えしていきます。また、必要に応じて面談や電話相談などを行うことで、対応させていただきます。</p>	担当教員とのやり取り	小学校1年生

令和6年度からの特別支援教室（小集団指導）通室先意向調査の質問・意見まとめ

※同趣旨の質問・意見は集約しています。

	質問・意見	お答え	分類	学年
35	拠点校から在籍になった場合、先生との繋がりというか話す機会が減る事もものすごく不安です。ましてや再来年中学生に上がる為、ものすごく大事な時期でもあるから。定期的に話し合いというかそういう場を設けていただきたい。	これまで通り、担当の先生（拠点校の巡回指導教員）とは定期的な面談や連絡帳でのやり取り等、ご家庭との密な連絡体制を維持していきます。気になることがあり連絡を取りたい場合もお電話頂ければお話できるよう致します。	担当教員とのやり取り	小学校5年生
36	拠点校に通っている時間の授業が抜けてしまい、高学年になればなるほど、授業についていくのが難しくなってくる。授業のフォローをお願いしても、先生によって対応がかなりちがうので、子どもも困っている。抜けた授業についても、もう少しフォローしてほしい	受けられなかった授業のフォローは、学校でそれぞれ対応しているところですが、実際にご心配を抱かれていることについて教育委員会ともしっかり受け止めて参ります。 特別支援教室で指導を受けている時間の授業のフォローについては、教育委員会から学校に対して適切な対応を取るよう周知していきます。	フォロー体制	小学校5年生
37	週2.3時間の指導との事なので 教室に行くのを忘れてしまうかも。その際は 迎えに行くなど 何かしら対応してもらえると助かる	学校内での移動について、学級担任、巡回指導教員、特別支援教室専門員やその他の教職員が声掛け等を行い、指導が受けられないことがないように対応していきます。	フォロー体制	小学校5年生
38	S教室に通級している間の学習面でのフォローが在籍校であまりされてなかったようなので、次年度も継続する場合、その点のフォローを在籍校にもう少しお願いできたらありがたいです。	受けられなかった授業についてのご心配やフォローについてのお声は少なからず頂いており、大切な事柄と認識しております。 在籍学級での授業については、学級担任始め学校から可能な限りフォローしており、また、受けられない授業科目に偏りが生じないよう時間割を工夫する等対応しております。 ただ、前提としては、特別支援教室の指導は、在籍学級での授業やコミュニケーションについて有意義・円滑に行えるようになるために受ける学びであり、特別支援教室での指導期間中はまず特別支援教室での学びをお子さんが着実に吸収できるよう、丁寧に指導を進めているところです。	フォロー体制	小学校5年生

令和6年度からの特別支援教室（小集団指導）通室先意向調査の質問・意見まとめ

※同趣旨の質問・意見は集約しています。

	質問・意見	お答え	分類	学年
39	中学生は授業進度が早く、S教室で抜けた授業の補習など大事だと思います。在籍校でS教室があるなら時間があかないうちに自分で先生に確認に行けたり、スムーズになると思います。これを機にS教室と在籍校の連携を密にさせていただき、補習やサポートの仕方など考えていただきたいです。	受けられなかった授業についてのご心配やフォローについてのお声は少なからず頂いており、大切な事柄と認識しております。 在籍学級での授業については、学級担任始め学校から可能な限りフォローしており、また、受けられない授業科目に偏りが生じないように時間割を工夫する等対応しております。	フォロー体制	中学校1年生
40	現在16人の子どもたちを7人の先生方でみてくださっているのですが、在籍校になると会えない先生が出てくるのが寂しいと話していました。	担当教員については、拠点校に集まって指導している教員が各校に巡回していきますので現在とは状況が異なっていきます。また、異動等がありますので、毎年同じ教員がお子さんの担当となるわけではないことをご了承ください。	担当教員	小学校5年生
41	場所も、時間も、メンバーも大きく変わると思うので教員は子どもが慣れている方がきてもらいたい	巡回指導教員の担当校については経験年数等を考慮し、学校によって偏りが無いよう配慮していきます。	担当教員	小学校5年生
42	子どもが担当の巡回の先生を信頼しているため、来年度も同じ先生が担当してくれるならばどちらでも構わないです。	担当教員については、拠点校に集まって指導している教員が各校に巡回していきますので現在とは状況が異なっていきます。また、異動等がありますので、毎年同じ教員がお子さんの担当となるわけではないことをご了承ください。	担当教員	小学校4年生
43	在籍校のお友達に、特別支援教室の活動を見られるのが嫌なのと、現在通っている拠点校の先生や学んでいる内容がとても気に入っていて、変えたくないと言っていました。 親としても、本人が現在の拠点校に進んで通いたいと言ってくれてるので彼の気持ちを優先したいと考えています。	在籍校で特別支援教室の授業を受けている時間は、他の児童は在籍学級で授業を受けていますので、特別支援教室の指導の様子を他の児童に見られる状況にはなりません。 現在通っている巡回指導教員が各校に巡回していきますので、担当する教員が変わることはありますが、指導内容等は変わりません。拠点校での指導を受ける場合も担当する教員は変わることがあります。この条件は在籍校でも拠点校でも同じです。	担当教員	小学校4年生

令和6年度からの特別支援教室（小集団指導）通室先意向調査の質問・意見まとめ

※同趣旨の質問・意見は集約しています。

	質問・意見	お答え	分類	学年
44	<p>少人数でしっかりみていただける場所があることにとても感謝しています。今通っている拠点校が遠く、送迎も本人の移動も大変だったので、在籍校で受けられるのは嬉しいです。</p> <p>本人は楽しんで通えているようなので、在籍校で受ける場合はどんな先生たちになるのか、内容はどうなるかが気になります。</p>	<p>巡回する教員は現在拠点校で指導している教員が各校に巡回して行きます。各校へ巡回する都合上、今年度お子さんを担当している教員が来年度お子さんの学校へ巡回する(担当する)とは限りません。また、異動等もありますので担当する教員は年度ごとに変わる場合がありますことをご承知おきください。</p> <p>指導内容自体は現在と大きく変わりませんが、指導時間が変わるためお子さん一人ひとりの課題に応じた指導を優先順位を付けて行っていきます。</p>	担当教員 指導内容	小学校4年生
45	<p>先生方は児童心理学や発達心理学などの専門的な知識をお持ちの方達なのでしょうか？</p>	<p>西東京市では市主催の指導効果の検証会議を学期ごとに開催し、心理の専門家から指導・助言を定期的に受けています。各校では東京都巡回相談心理士の学校訪問により専門的な見地からの助言を受けています。</p>	担当教員	小学校1年生
46	<p>何人体制になるのか不透明な中、今まで通りの指導を受けることが可能なのか、先生はどのような流れで選出されるのか。</p>	<p>各学校(在籍校)では凡そ3~5人程度のグループを組み小集団指導を進めていきます。同学年又は年齢の近い範囲(凡そ2学年の範囲内)で小集団を組む想定です。1グループ3~5人の児童・生徒に対して教員2人で指導する形を基本として考えています。小学校と中学校では成長発達段階が異なることから指導状況に差異はございます。</p> <p>担当教員は2人体制で指導する都合上、全体のバランスを考えながら考えて行きます。</p>	指導体制	小学校3年生
47	<p>時間数はできるだけ減らさず、本音は4時間のままだいいです。</p>	<p>令和6年度からの特別支援教室は児童・生徒の実態に合わせて週1~3時間程度の指導を行うことを想定しています。これは、可能な限り多くの時間を在籍学級で有意義に過ごせるようになることや、在籍学級での授業時間を確保することを今まで以上に重視し、お子さんの自立に向けてトータル的に課題解決を図っていくことで一層、質的な充実に繋げていくものです。今後も変わらずに、これまで大切にしていた自立活動の指導といった目的・目標に向けて丁寧に指導をしていきます。</p>	指導時間	小学校2年生

令和6年度からの特別支援教室（小集団指導）通室先意向調査の質問・意見まとめ

※同趣旨の質問・意見は集約しています。

	質問・意見	お答え	分類	学年
48	<p>【気になる事】</p> <p>①具体的に指導時間がどの程度減るのか</p> <p>②今までの時間割でのカリキュラム（朝の運動→課題別 取組み→グループワーク）からどのような指導内容に変更するのか</p> <p>③在籍校での指導日は曜日固定なのか、変動なのか（今はまでは曜日固定だったので子ども自身も自分の気持ちの切り替えができていたが、変動だと変化への対応が苦手な子どもは気持ちが不安定になるのでは）</p> <p>④L教室対応だった書字や板書のサポートも希望したい場合、S教室で受けていた指導の割合が減ってしまうと思われ併願すべきか悩ましい</p>	<p>①小集団指導については週2時間を考えております。</p> <p>②指導時間が変わるため、固定された時間割ではなく優先順位を付けて必要な指導を行っていきます。</p> <p>③指導する曜日についての考え方は現在と変わりません。在籍校での授業等の兼ね合いで指導する曜日を決め、年度内では変わりません。</p> <p>④小集団指導を受けている児童で1対1の個別指導が必要な場合は個別指導を行っていきます。</p>	指導時間 指導内容	小学校5年生
49	<p>特別支援教室を利用する子どもが増えている割に、先生の数が増えないので、それぞれの在籍校で受けられるようになるのと、先生がさらに足りなくなってしまうのではないかと不安です。</p>	<p>特別支援教室は児童・生徒12人に対して巡回指導教員が1人配置されております。これは東京都教育委員会の規定であり、令和6年度も今年度と同じ基準で配置されるものと考えております。</p>	教員配置	小学校5年生
50	<p>在籍校はもともと教室の余裕がない上に、S教室に通う子が多いようなので、どこでどのように指導をするのかも心配です。</p> <p>親の送迎の負担はなくなって助かります。</p>	<p>指導する教室は現在L教室で指導している教室を中心として必要に応じてその他の教室で指導することを想定しています。指導人数によってスケジュールや指導する教室を決めていきます。</p>	指導教室	小学校5年生

令和6年度からの特別支援教室（小集団指導）通室先意向調査の質問・意見まとめ

※同趣旨の質問・意見は集約しています。

	質問・意見	お答え	分類	学年
51	<p>他校でも不安だと仰っている方も居ましたが、教室が不足している状況のため、特別支援教室用の部屋が確保しづらいのは心配に思います。拠点校ですと、運動の場所や教室が確保されていたのが、とても良かったです。教室が不足している学校ですと、今までの指導と大きく変わってしまうようにも感じる為、通う児童達にとって、成長に繋がる場所となる事を切に願います。よろしくお願いいたします。</p>	<p>指導する教室は現在L教室で指導している教室を中心として必要に応じてその他の教室で指導することを想定しています。指導人数によってスケジュールや指導する教室を決めていきます。 指導内容は在籍校と拠点校で同じ内容となるよう実施していきます。運動の時間についても可能な限り体育館の利用が可能となるよう調整していきます。</p>	指導教室	小学校2年生
52	<p>前回の説明会では、粗大運動等の体育の授業での体育館の使用については、在籍校の使用状況による、ということでしたが、来年度になってから、その都度使用できるか分かるのか、又は教室でのみ行うというかたちになるのか等、通級先の最終決定前に情報を頂けるのか教えて頂けると助かります。どうぞよろしくお願い致します。</p>	<p>運動の時間については、体育館を使用できるよう各校に説明しているところです。運動に限らず、小集団指導の時間数がこれまでと変わりますので、全体の指導スケジュール等の見通しを今後お示ししていくことを考えております。</p>	指導教室	小学校2年生
53	<p>保護者としては、在籍校の特別支援教室に通うことは歓迎しますし助かるのですが、本人の性格がデリケートなため、もし在籍校の通常クラスの児童に、特別支援教室在籍であることを心無い言葉で揶揄されたりすると落ち込んでやる気をなくしてしまったりするかもしれないので、教室移動や活動場所などを工夫していただけると有り難いです。</p>	<p>特別支援教室の内容や趣旨について、学校全体で理解啓発を図ったり学級担任からクラスメートに声掛けをしていく等、お子さんが特別支援教室を不安なく通うことが出来るよう努めて取り組んでおり、今後も継続して理解啓発を行っていきます。 在籍校で指導する教室について、普段生活している教室とは離れた場所にある教室を基本に考えています。休み時間中に他の児童が教室を移動することがあるのと同様のイメージになります。</p>	理解啓発 教室移動	小学校3年生

令和6年度からの特別支援教室（小集団指導）通室先意向調査の質問・意見まとめ

※同趣旨の質問・意見は集約しています。

	質問・意見	お答え	分類	学年
54	今まで在籍校の先生の中には特別支援S教室に対しての理解が不足している方が多く見られたので先生方にも特別支援教室の理解を深めてほしいと思います。	これまでは在籍校から離れた拠点校で特別支援教室の指導が行われていたため、在籍学級の担任が指導の様子を知る機会が限られていました。令和6年度から在籍校で小集団指導を行うことにより、在籍学級の担任が指導の様子を知る機会、巡回指導教員と直接情報交換する機会が増える等、連携はより密になっていくと考えております。	理解啓発	小学校1年生
55	在籍校でのイベントで、運動会等や遠足等は出席できていますが、一部参加できていないものがあります。拠点校でのカリキュラム等もあると思うので無制限とはいかないかもしれませんが、児童が希望する場合は在籍校への出席や学校の指示が無くても申告で認められると良いと思います。	学校行事や、ゲストティーチャーが来るような特別の授業については、なるべく巡回の曜日を外していただくよう在籍校に要望しています。様々な事情により調整が難しい場合は在籍校の行事に参加してもらっています。次年度についても、在籍校に配慮をお願いしますが、やむを得ず重なってしまった場合は、在籍校の行事を優先する形で行う予定です。	行事の参加等	小学校3年生
56	医療機関との連携はされてないのでしょうか？ 医療に繋がった方が良い場合などの判断は出来るのでしょうか？	就学支援委員会の構成員として医師が参画しており、専門的な見地からの助言を受けています。市主催の指導効果の検証会議において、医療との連携について検討する場合があります。	他機関との連携	小学校1年生
57	在籍校での指導については、環境の変化に敏感な子供達ですので来年度の指導に影響のないようにご配慮ください。 また、現在の指導ですが、個々の個性や能力もあるとは思いますが我が子の成長はほとんど感じられません。スローステップとは言われておりますが特別支援教室の指導は我が子の成長や進歩に繋がっているのか？と疑問に思っております。	特別支援教室の指導については市主催の「指導効果の検証」会議において巡回指導教員が心理の専門家から指導・助言を受ける機会を学期ごとに設けています。指導内容の改善に関する指導・助言から、特別支援学級等の指導を受ける場についての助言を受けています。 特別支援教室の中でも保護者面談等でお子さんの成長や進歩についてお話しする機会を設けていますので、拠点校の先生にご相談いただきますようお願いいたします。	指導効果の検証	小学校5年生

令和6年度からの特別支援教室（小集団指導）通室先意向調査の質問・意見まとめ

※同趣旨の質問・意見は集約しています。

	質問・意見	お答え	分類	学年
58	きちんと体制が整った上でスタートして欲しいと思います。	令和6年度に向けた取り組みについて、随時情報提供してさせていただきます。市公式HPへの掲載、広報物等によりお知らせします。	ご意見	小学校2年生
59	いつも出来たことを報告してもらえて有り難いのですが、できれば、出来ないこと、出来るようになったことも教えてもらえると助かります。	令和6年度に向けた取り組みについて、随時情報提供してさせていただきます。市公式HPへの掲載、広報物等によりお知らせします。	ご意見	小学校1年生
60	昼の移動がなくなったことは保護者にとって大変ありがたいことです。しかし一方で指導にあたってくださる先生方の移動が発生し負担が増えること、週1回4時間あった指導が減ってしまうことなど不利益についての懸念も絶えません。在籍校で今まで以上の、そして生徒保護者のみならず、先生方へのサポートも充実することを願っています。	令和6年度からの特別支援教室は児童・生徒の実態に合わせて週1～3時間程度の指導を行うことを想定しています。これは、可能な限り多くの時間を在籍学級で有意義に過ごせるようになることや、在籍学級での授業時間を確保することを今まで以上に重視し、お子さんの自立に向けてトータル的に課題解決を図っていくことで一層、質的な充実に繋げていくものです。今後も変わらずに、これまで大切にしていた自立活動の指導といった目的・目標に向けて丁寧に指導をしていきます。	ご意見	小学校5年生
61	各学校対応になるのは、送迎などの時間短縮になり良いと思いますが、人数のばらつき、先生の不足にならないか気になります。	学校によって特別支援教室の指導を受ける人数には差が出るものと認識しています。指導内容はそのお子さん一人ひとりに応じて考えて行きます。教員の配置については特別支援教室の指導を受ける児童・生徒数によって決まりますので、不足することはありません。	ご意見	小学校1年生

令和6年度からの特別支援教室（小集団指導）通室先意向調査の質問・意見まとめ

※同趣旨の質問・意見は集約しています。

	質問・意見	お答え	分類	学年
62	<p>特別支援教室に入室出来るタイミングの年間スケジュールは、各学校や子ども関連の施設へ年間を通して掲示して欲しいです。</p> <p>ホームページでも探すのに大変でした。不慣れな自分の責任ですが、期間に漏れてしまうとまた半年以上の時間を無駄にし活動する気力やタイミングを失います。カウンセラー、教育相談、学校先生方が事前に細かく把握していませんので、そういう施設に入った時に保護者等が目につく場所への掲示をお願い出来れば助かります。</p> <p>子ども達の為に沢山の方が色々工夫して下さい感謝しております。特別支援教室に通っているお陰で学校生活は上手く行く様になったと思っており、先生方も含め、関わっている全ての方に日頃の感謝をお伝えする事は難しいですが、この場を借りて感謝申し上げます。</p>	<p>特別支援教室入室に係るスケジュール等につきまして、就学支援委員会事務局管の学務課から、市公式HPや広報「西東京市の教育」を用いて情報提供させていただいております。</p> <p>今後、保護者の方向けの配布物等、分かりやすい説明資料を作成していきたいと考えております。</p>	ご意見	小学校5年生
63	<p>来年度は在籍校での指導を希望していますが、引き続き保護者の勉強会や交流会があると良いなと思います。また今後の進路などの参考に、できましたら支援教室の卒業生の保護者の方のお話（体験談）が聴ける機会なども設けて頂けると嬉しいです。</p>	<p>いただいたご意見を参考にしながら、来年度のスケジュール等検討していきます。令和6年度に向けた取り組みについて、随時情報提供させていただきます。</p>	ご意見	小学校4年生